

平成 19 年 10 月 15 日

注 意 報

長崎県病虫害防除所長

平成 19 年度病虫害発生予察注意報第 6 号

野菜・花き類 オオタバコガ

記

1. 発生地域（対象地域） 県下全域
2. 発生程度 多
3. 注意報発令の根拠
 - (1) オオタバコガのフェロモントラップ（諫早市）の誘殺数は 10 月上旬に急増し、平成 10 年以降の調査で最高の数値となっている（図）。
 - (2) 10 月上旬の巡回調査の結果、ばれいしょでの寄生虫数は 0.1 頭/株、発生圃場率は 55.0% と高い（一昨年は寄生虫数 0.02 頭/株、発生圃場率 15%、昨年は発生を認めなかった）。また、本虫およびヨトウムシ類（ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ）を含めたチョウ目害虫による被害株率も、28.1%（平年 7.2%）と高い。
 - (3) 10 月中旬の県予察圃場（無防除）の調査の結果、寄生株率はレタスで 26%、ブロッコリーで 22% であった。
 - (4) 10 月上旬の病虫害防除員による報告でも、ばれいしょやレタス等での被害が認められている。
 - (5) 気象予報（福岡管区气象台、平成 19 年 10 月 12 日発表）によると、九州北部の向こう 1 ヶ月間の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。
4. 防除上注意すべき事項
 - (1) 幼虫の齢期が進むにつれ薬剤の効果が低下するので、圃場をよく観察して早期発見に努め、若齢期のうちに防除する。
 - (2) 特に、オオタバコガ幼虫は植物体の内部に食入するため薬液がかかりにくく、防除効率が低下するので早期防除に努める（薬剤は、県防除基準を参照）。
 - (3) 被害部位（果実・花蕾・新芽等）や摘心・摘花した腋芽や花蕾などは、卵や幼虫が寄生していて発生源となることがあるため、圃場内に放置せず、圃場外に持ち出して処分する。

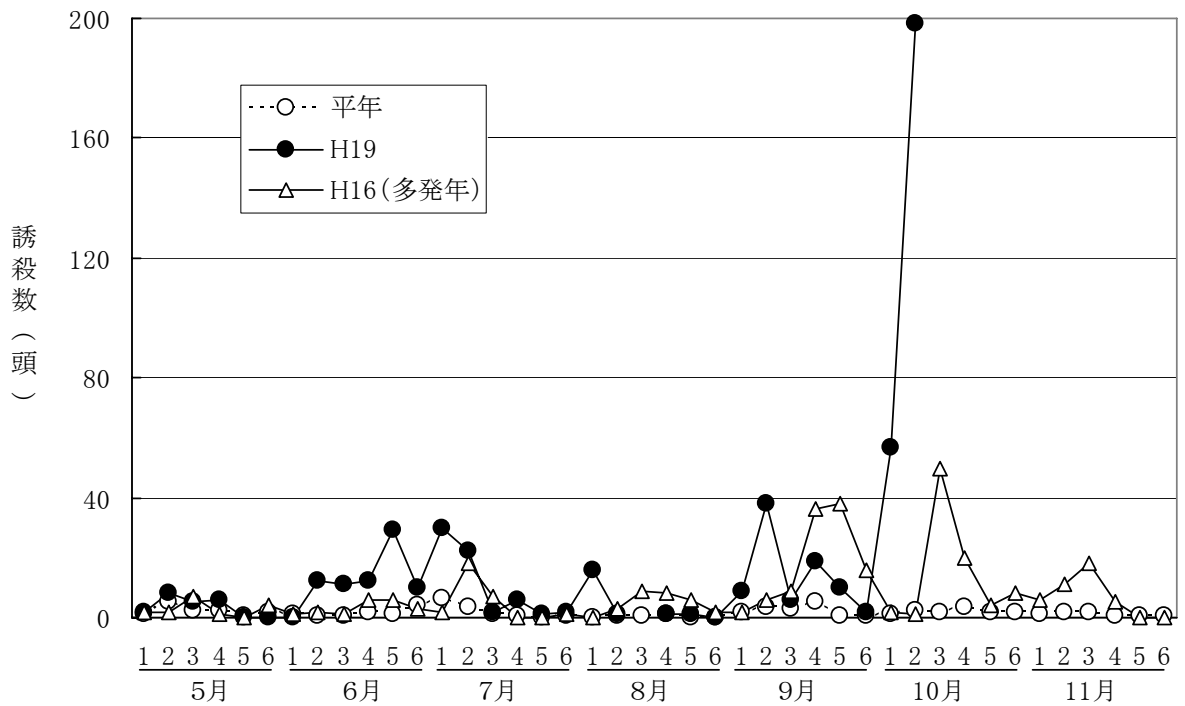


図 フェロモントラップにおけるオオタバコガ誘殺状況(諫早市) (月・半旬)
 ※H19データ:8月13日、14日データ欠測
 平年:H10~H18の平均値(最大・小値除く)

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム（一部会員制
 アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>）やその他の情報を閲覧することができます。

○この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027， Eメール：kngs0301@sp.jppn.ne.jp